

みみの記念日 3月3日:耳の日 6月6日:補聴器の日 9月9日:人工内耳の日 9月23日:手話言語の国際デー

佐賀

インターナショナル

バルーン

フェスタ

SAGA INTERNATIONAL BALLOON FESTA 2018 10.31~11.4

手話通訳と文字情報

競技を支える人たち



世界各地のバルーン大会で、
手話通訳があるのは佐賀だけ！

20 年以上続けてきた
通訳は放送塔の前に。
総合案内にはろう者も待機

本日 午前の競技

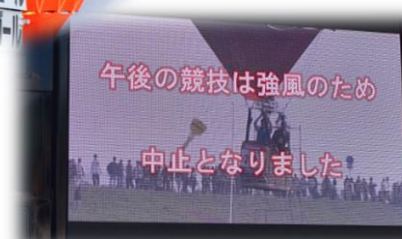
3	2	1
井上 拓也 井上 拓也 井上 拓也	井上 拓也 井上 拓也 井上 拓也	井上 拓也 井上 拓也 井上 拓也

会場からの一斉観望

大きな風船を空に上げ
高さによって異なる風
の向き・強さを計測。
このデータを基に競技
を組み立てる (気象班)



落ちてきたマーカー
からターゲットまでの
距離を計測。近い
ほど高得点 (計測班)



会場直結の「バルーンさが駅」
降りてすぐの所にある大型ビジョン



競技監視員。各チーム
に 1 名が同行し違
反・不正や危険な行為
等がないか監視。計測
結果等を競技委員会へ
報告 (オブザーバー)



観客・ボランティア 82 万人が作るフェスタ

いろんなボランティアの方が
大会運営を支えています。



リアルタイム
のネット配信
もあります。
YouTubeLive
ニコニコ生放送



子どもの必需品「まいごバンド」
名前と連絡先を書いて手首に。



シグナル・フラッグ



ファンタジア (変形
バルーン) は立ち上
げに多くの人手が必
要。クルーが少ない
海外のチーム等も支
える (ボランティアクルー)



駐車場も南北に
長く広いので場
内循環バス。
障害者駐車場は
会場の南側に。



今年も
やります！

第 2 回 聴覚障害者・情報支援者による
バルーンフェスタ 写真コンテスト

QR コード「第 2 回写真コンテスト ホームページアドレス」

旗の色で待
機や開始、
競技中止等
を報せる
(シグナル)



球皮、ゴンドラ、バーナー、シリンダー等
バルーンの全てが 1 台の車に。飛び立った
バルーンを追いかけて、無線でパイロットへ
情報提供。着陸したら回収 (チェイスカー)

シリーズ (12)

山口相談医のひと言コメント

加齢による難聴について②



前 回加齢による難聴についてふれました。主に純音聴力検査での話＝「もの音の聞こえ方」を書きました。聞こえ方にはある意味、「もの音の聞こえ方」と「言葉の聞こえ方」の2つに分けることができます。単純に考えると、「聞こえにくくなる＝物音が聞こえにくい」から「言葉の聞こえ」も悪くなる、となります。ことはそう単純ではありません。

漫 画やドラマで、お年寄りに「ごはんですよ～」と呼びかけても、うんともすんとも言わないのに、食器を落としたら「うるさい！」と怒り出す。こんなシーンを見たことはありませんか？ ちょっと大げさに表現されていますが、実はあは現実により得る場面なんです。しかも、そのお年寄りが「意地悪している」のではないのです。

こ れが、「もの音の聞こえ方」と「言葉の聞こえ方」の乖離です。実は、普通の検査ではよく聞こえているのに、お話をするとなかなか通じない、ということがあります。その時に「言葉の聞こえ方」の検査をすると、かなり悪いということがあるのです。「聴いている」と言えるのですが、このようなケースでは、音はしっかり伝わり、その先の脳での「解釈・処理」がうまくいっていない、ということになります。一口に「聞こえ方」といっても、耳だけの話ではなく、奥が深いようです。



要約筆記者養成講座が修了(10月31日)。4月から始まり、2名の方が修了されました。さらに統一試験合格を目指して頑張りましょう!!

ろう者向け日曜教室(10月21日)

ドローンとは何か＝進化するドローンの役割

国際技術コンサルタン
ト(株)の柴田課長、木室
測量士から話と実演をして
もらいました。



ドローンは英単語でオスの蜂を指す。飛行時のブーンという音が蜂の羽音に似ていることからという説もあります。用途は、軍用、民生用と幅広く、建設現場での生産性向上や物の運搬の実用試験が始まっています。

参加者も興味深々で、「免許が必要か、動力源、機体の値段等」の質疑がありました。広場では小型のドローンにより、5m上空からの映像等を実際に確かめました。



柳川リハ1年生15名 来館

柳川リハビリテーション学院言語聴覚学科の学生が来館。聴力検査、補聴器調整、聴覚学習の実践例等の見学をしました(10月3日)



今後の予定

- 11月24日(土)10:00～ 医師相談
- 11月25日(日)13:30～ 写真講座
- 11月28日(水)巡回聴こえの相談 佐賀市三瀬村
- 12月26日(水)巡回聴こえの相談 嬉野市
- 1月16日(水)巡回聴こえの相談 吉野ヶ里町

難聴者向け日曜教室(9月8日)

佐賀県も安心とは言いきれない!!

地域でできる防災対策(佐賀市消防防災課大島さん)

東日本大震災の時、岩手県釜石市では津波が襲ったが、5名の死亡にとどまり、「釜石の奇跡」と言われている。明治時代の津波の経験をもとに、「津波でんでこ(自分の命は自分で守りなさい)」の教えと教訓が浸透、中学生が小学生の手を引いて避難した。

教訓1: マップの想定を信じるな。教訓2: 状況下では最善を尽くせ。教訓3: 率先して避難者となれ。

編集後記: p.1はKさんが作成してくれました。大会を支える裏方さんたちの苦勞がよくわかります。(と)

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12(佐賀商工ビル4階)
TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705
メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp
ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日